

モンゴル国立医科大学との医学部生とサマーセミナーを行いました

医学部では、9月11日から15日までの5日間、学術交流協定校であるモンゴル国立医科大学の医学生を受け入れサマーセミナーを行いました。これは、2005年に締結した医学部との部局間交流協定に基づくもので2006年から学生交流（相互訪問、サマーセミナー、ホームステイ等）が開始され、節目の10回目となる今回は本学での開催となりました。本学の学生にとっては、英語による交流ができる貴重な機会であり、またグローバルな視点を養う好機となりました。20名もの医学部生が様々な形で交流に参加しました。

モンゴル国立医科大学からは、ナンディン・ガルマー先生（解剖学）を団長とする6名の学生訪問団が蔵本キャンパスを訪れ、本学学生と交流しました。

5日間の中で、セミナーの中心となるシンポジウムでは、両大学の学生が英語でそれぞれの国や大学紹介をし、また、それに続く文化交流では、モンゴル国立医科大学学生が馬頭琴の演奏や歌、踊りを披露、本学学生が、合気道の型を披露するなどして、大変有意義で実りある時間を過ごしました。また、医学部長主催の歓迎レセプションでは両校の名誉教授の西野瑞穂先生にご出席いただき、モンゴル国立医科大学学生からは馬頭琴の演奏や歌、踊りが披露され、本学からは柔道部による実演、TIFMSA（徳島国際医学生連盟）による活動が披露され、最後に参加者全員で阿波踊りを踊り親睦を深めることができました。その他、附属図書館蔵本分館、大学病院の視察、スキルスラボ見学並びに実習、英語による特別講義受講、県内各所の見学など盛りだくさんの行事を終え、セミナーを終了しました。



スキルスラボで日本人学生と一緒に腹腔鏡実習をする
モンゴル人学生



本学医学部柔道部員による柔道実演



文化交流会で馬頭琴の演奏を披露するモンゴル人学生



文化交流会でモンゴルの伝統的踊りを披露するモンゴル人学生



歓迎レセプションで阿波踊りで交流を深める参加者



モンゴル国立医科大学のナンディン先生（前列右から4人目）、丹黒医学部長（前列右から5人目）、西野名誉教授（前列右から3人目）を囲んで記念撮影